

ニュースから始める4技能5領域を使った生徒が夢中になる授業

[佐野日本大学中等教育学校] ■ 大橋 優生 先生



実践例
08

学年 高校2年

投入授業 コミュニケーション英語Ⅱ 夏課題

CNN Comprehensive Trainer 2021



目的 ✓ ニュースの素材に日々触れ、自分から学ぶ生徒を育てる



プレゼンテーション用スライド

学習の流れ

2コマで1ニュース(1コマ50分)

1コマ目

- STEP 1 オリジナルプリントで語句を確認する
(単語クイズをペアで出し合う)
- STEP 2 テキストを見ずに、動画を見ながらノートテイキングをする
☞ 答えを探しながら聞くのではなく、全体から主題をつかむ
- STEP 3 ペア、またはグループで聞き取れた内容を英語で共有をする
- STEP 4 動画を見る
☞ グループで確認した内容もヒントしながら再度見ることでスローラーナーでも概要をつかみやすくなる
- STEP 5 STEP2のノートをもとに、Listening Comprehensionを解き、ペアで答え合わせをする
☞ 教員が答えを導くのではなく生徒の理解度に合わせて繰り返し音声聞かせる
- STEP 6 各自で本文を読み Summary を解き、ペアで共有をする

STEP 7

STEP 6までで学んだニュースを、今朝見たという想定で、ペアでリテリングをする(聞き手はリアクションをしながら、相手を変えて3~4回繰り返す)

STEP 8

STEP 8の授業についてアナウンスをする

2コマ目

STEP 1

Expressionのタスクに合わせて、ディベートやプレゼンテーション、エッセイなどのアクティビティをする

夏課題

- ・ アンカーの発音、スピードをまねてニュースを読む動画を提出する(全文暗記は難易度が高いので数回に分けて撮ったものを編集してもよい)
- ・ オリジナルニュース動画を作成する

先生からのコメント：

オーセンティックな素材で、生徒が自分事に置き換えやすいテーマが選定されていること、授業で扱いやすいように設計されており、教員側で特別な準備が不要なほど洗礼された Expression のタスクが教材化されていることに魅力を感じ、本教材を採用した。難しさはあるが、生徒同士が話し合いたくなるようなコンテンツベースの教材であることが魅力で、難易度のストレスを感じないよう気を付けて授業を進めているので、生徒も楽しんで取り組んでいる。生徒たちの自ら学ぶ姿勢につながるよう、あえて授業内で内容把握を消化しすぎずに、次の活動への余韻を残すように心がけている。また、トピックを順番に進めていかなくとも成立し、投げ込み的な使い方ができるのも魅力。



プレゼンテーションの様子

生徒の反応：

電子タバコについてのニュースを取り扱った授業では、ディベートの中で「吸引型のエナジードリンクを学内で嗜むことは是か非か」というテーマを投げ込むと、大変盛り上がり、授業時間が終わっても議論が続いていた。また、VRを活用した高齢者支援の單元では、VRを活用した製品を開発し、プレゼンするというテーマで全員がプレゼンテーションをした。スライドにも思い思い創意工夫があり、英語を越えて、お互いのアイデアに大いに盛り上がる事ができた。他にも、自分の好きなアンカー、発音について話しあったり、リンキングが実感できた箇所を教材内のスクリプトに書き込んでいたり、教材を楽しんでいる。